

特集「サービスインテグレーション」の発刊に寄せて

平岡昭良

2012年7月31日、「日本再生戦略～フロンティアを拓き『共創の国』へ～」が閣議決定され、今後日本が進むべき方向性が打ち出された。日本再生戦略は日本企業の在り方や新しい方向性を示唆するもので大変勇気付けられる内容である。

日本再生戦略では、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故を超克して新しい日本社会を作り、誰もが「夢と誇りを持てる国」を実現することが責務だとしている。そのためには、東日本大震災以前の私たちの社会の在り方や価値観を一から見直す必要がある。世界に先駆けて様々な困難に直面しこの困難を乗り越えることで、日本は世界に先例を示す「フロンティア国家」という新たな立場に立つ。直面する幾多の困難をむしろ日本にとってのフロンティアとして捉え、勇気を持って切り拓いていくことで世界に範を示す社会を築くことが「日本再生戦略」の目標だとしている。フロンティアを切り拓き新たな成長を目指すには「量的成長」のみではなく「質的成長」も重視し「経済成長のパラダイム転換」を実現する。「フロンティア国家」として直面する課題の解決策を見出すには、現在使っているあるいは眠らせている能力や資源を最大限に発揮し、創造的結合によって新たな価値を「共に創る」ことが必要で、それが「共創の国」の姿だと示している。「日本再生戦略」を実行することで「共創の国」創りを行い、今後の経済や新たなイノベーションを支えることが肝要としている。

日本ユニシスは、ICT関連技術の応用やビジネスイノベーションの局面で、この「共創の国」創りに寄与できると考える。

お客様とビジネスゴールを共有し、戦略的なパートナーシップを発揮しながらビジネスシステムに必要な「もの」「しくみ」「人的資源」を調達し「サービス」という実現形態で提供することを、日本ユニシスは“サービスインテグレーション”と呼んでいる。日本ユニシスは2010年よりサービスインテグレーション力の強化戦略を実施し、旧来のビジネスモデルを発展させるイノベーションに取り組んでいる。

サービスインテグレーションでは、顧客企業とそれぞれの強みを活かし、共に学び共にビジネスを創り上げ新しい価値を創出する「共創ビジネス」を展開する。ICTパートナーとしての豊富な経験と知見を梃子（てこ）にして、未知に潜む課題を予見し対策を講じ、フロンティアを切り拓く。あらゆる業種・業態のお客様とのリレーションを活かし、業界の垣根を越え、クロスインダストリーなビジネス・エコシステム（多数のビジネスプレイヤー間の経済的な依存関係や協調関係から成り立ち価値創発・循環が認められる多企業間連携ネットワークシステム）を形成し、日本社会に貢献していきたいと考える。

日本ユニシスはシステムインテグレータとしての principle（プリンシプル：軸ぶれしない理念）を有している。成熟したシステムインテグレータからさらに成長し、お客様との共創ビジネスを推進し ICT 業界でサービスインテグレーション企業（以降、サービスインテグレー

タと称す)としてフロンティアを切り拓くことは、まさに日本再生戦略で示された方向性と整合していると考える。

本特集号は、ここ数年でお客様と共に実現させて頂いた数々の共創ビジネスを通して、サービスインテグレーションが求められるようになった業界的背景やその実践的取り組みを紹介している。サービスインテグレータとして求められる技術やビジネス実践に関するケイパビリティについて「現場力」「技術力」「スピード力」という三つの切り口で示唆している。本号を読まれることで、お客様と日本ユニシスの持続的競争優位の源泉となる経営資源(組織/人的資源)の強化の方向性についてご理解頂けるのではないかと考える。

サービスインテグレータは、お客様とのよりよい関係性構築によりお客様のビジネス成果を向上させる。サービスインテグレータ日本ユニシスの戦略的 ICT パートナーとしての新しい可能性、プレゼンスを見出して頂けるならば幸いである。

(代表取締役専務執行役員)